

緊急アンケート 学校再開どうですか？ 「最終まとめ」

(実施期間 2020年6月2～15日)

2020年6月30日【47都道府県 1421人】

新日本婦人の会

<目的と経過>

コロナ禍でこれまでになく長期間の休校を経験した子どもたち。待ちに待った学校再開ですが、感染防止対策や熱中症の心配、「遅れを取り戻す」という名の下での授業の詰め込み、行事の中止、給食もおしゃべりなし…など、これまでにない環境の下での学校生活に不安も…。そこで、緊急アンケートを実施（6月2日～15日）、再開後の学校の様子を聞きました。

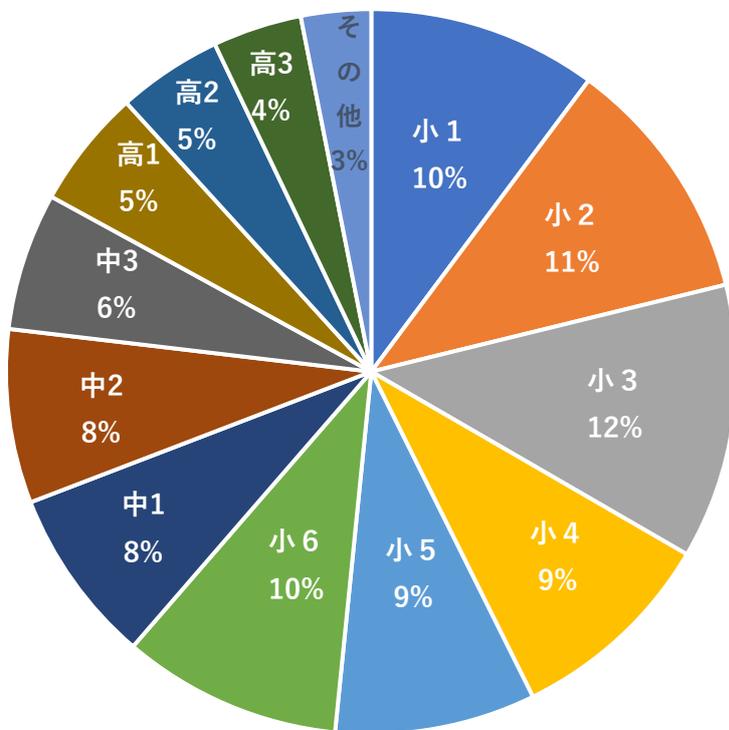
アンケート開始直後から、アクセスが集中し、6月10日には800人を突破。急きょ「中間まとめ」を行い、6月15日、文科省（矢野和彦大臣官房審議官）に要請しました。最終まとめでは47都道府県1421人、寄せられた「声」は107ページ分となりました。

コロナ禍でも、子どもの権利を大事にした学校生活を！ そのためには少人数学級の実現を！ そんな思いが詰まった声やデータとなりました。今後もこれらの「声」活用し、改善を求めていきます。

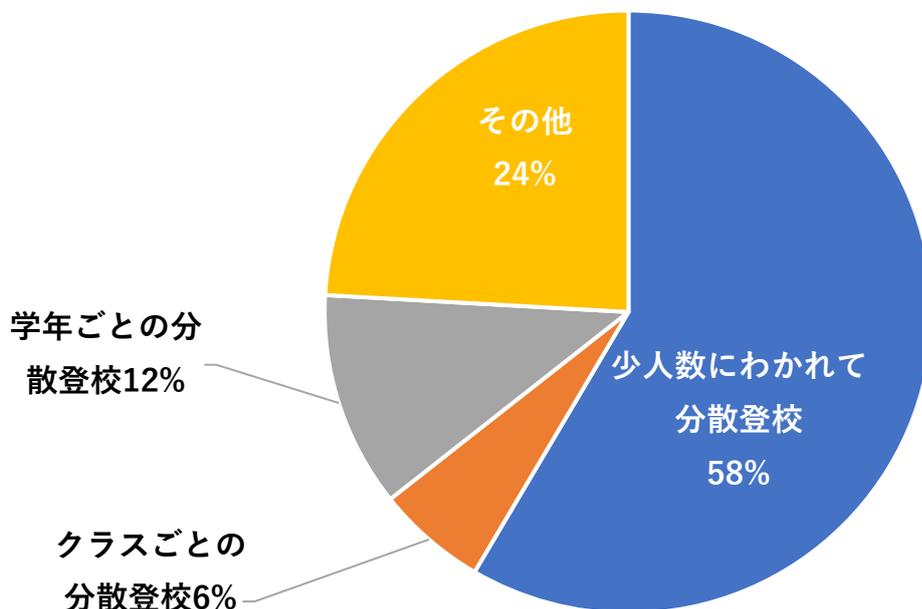
<アンケート収集方法>

LINE@で配信し、会員・読者、その友人やまわりの保護者等が回答。「Google フォーム」活用。

①お子様の学年を教えてください。



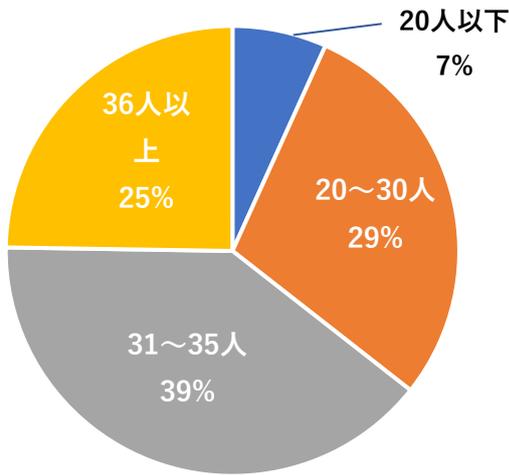
②どのような形で学校再開しましたか？



学校再開当初は、「密」を避けるため、分散登校が多く、少人数学級になりました。

それもわずかな期間。6月15日から「通常クラス」にもどっています。

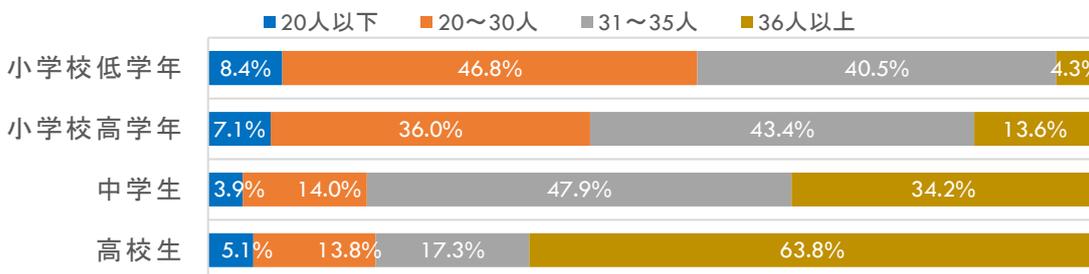
③通常は何人クラスですか？



「通常クラス」にもどると、何人になる？ という設問。31人以上は計64%です。うち、36人以上も25%あり、「密」が心配です。下記は、小中高の内訳です。

アンケートの「声」からも、遅れた授業を取り戻すよりも、コロナ禍の今だからこそ、ゆとりある少人数学級での学校生活をと望んでいることがわかります。

③の内訳 回答者別の割合

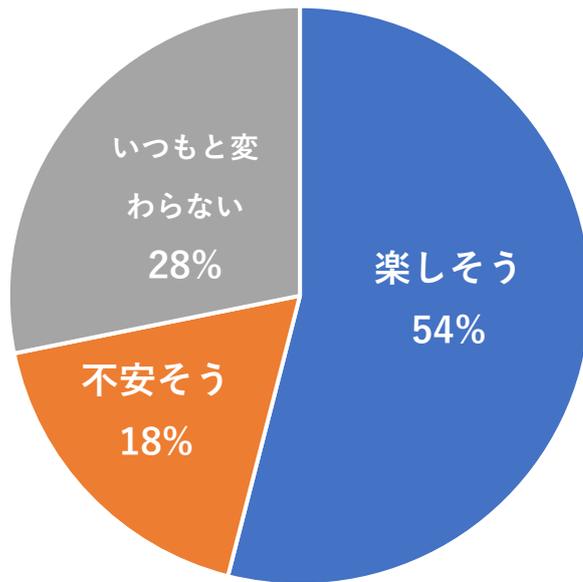


※6月15日の文科省への要請では大臣官房審議官が「コロナ禍では20人以下の少人数学級は必要」と回答！そうであるならば、そのための適正な予算措置をするべきです。

アンケートの「声」より ~少人数学級で子どもの様子を見てほしい

- *通常は35人、教科によっては38人で授業。3人ずつ机はくっつけてある。
- *いつもは、40人のクラス。いまは3時間だけの分散登校だから、20人学級に。通常時間になるときは、どうなるのか不安。
- *人との距離を「2メートル」と言うなら、20人学級は必須。この3カ月間、親も子も大変な思いをしてきた。学校再開でいきなりマッチョな学校に戻すようでとても心配。
- *学習の遅れや感染予防、休校による心身のサポートのためには少人数学級実現が一番だと思う。これから大幅に休みが減らされているので、子どもがやっつけていけるか心配…。
- *授業のスピードが速く、頑張っている状態です。少人数学級ならフォローも手厚くなるんじゃないかと、切に希望したい。
- *学校はやっぱり密です。この機会に、少人数学級を進めて、30人以下にしてほしいです。
- *通常通りのクラス人数で6時間授業毎日、三密を避けようがない。
- *もともと生徒数が多い学校のため、クラスの人数も多いし、昇降口もかなり密です。感染リスクはかなり高いので、不安はあります。教室が足りないため、難しいですが、クラスの人数が少なければ、感染リスクも低くなるのではないかと。
- *少人数学級で、子どものようすを、しっかりみてほしい。
- *以前から不登校で、今年度登校し始めました。今は分散登校で人数が少ないので行きやすいようです。6月下旬からは全員が揃うそうで、教室に人がびっしりというのが苦手なので、そうなったらまた行かないと言っています。…少人数のままクラス運営をしてもらえれば、うちの子も教育を受ける機会を手放さずに済むと思います。1クラス20人以下になるような人員、予算などを要望します。
- *行事がなくなったり、縮小されることを残念がっています。それなら日々の40人以上が一教室で授業受ける環境はどうなんだ！と。クラスでは密に甘んじているのに、文化祭の盛り上がりは密だからなくなる…ということが不満なようです。
- *授業数確保に力を注ぐより、子どもたちが再開して良かったと思えるよう楽しい時間の確保にもパワーを注いで欲しい。少人数学級こそ一番の環境対策、ぜひ早急に！
- *もともと少人数クラスなら分散登校しなくてもいいのに。
- *少人数学級、先生にすぐに質問できるクラス人数にしてほしいです。今年から英語授業が始まり不安です。

④学校再開で子どもたちの様子はいかがですか？



先の見えない3カ月の長期休校があけ、学校再開を喜ぶ子どもたちの様子が、たくさん寄せられました。「楽しそう」の具体的な記述には、「**友だちに会えた**」がダントツ！一方で、すぐにテストがあったり、「おしゃべりはだめ」などのコロナ禍のルールなど、「**疲れている**」「**窮屈そう**」「**不安**」も多数寄せられ、注視が必要です。

⑤ ④の具体的な様子（自由記述）【別紙全文】

アンケートの「声」より

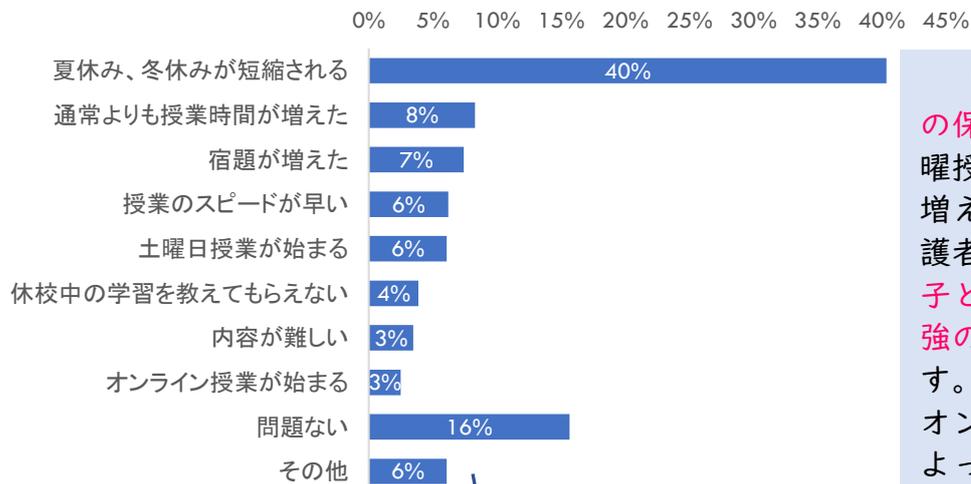
【楽しそう】

- *寝言で、**やっと学校始まったわ、めっちゃ嬉しいー**と、大声で言ってました。
- *友だちと会えて生きいきしている。
- ***新しい先生に初めて会えたことや、友だちと過ごせて楽しい**と言っている。
- *給食はおいしいし、友だちとも遊べるので楽しい。
- *クラス全員ではなくても、友だちに会えるのは楽しみみたいです。
- *初めての登校なので、初日は不安でドキドキしていたようですが、先生は優しいし、友だちも出来たようで、楽しく行ってるようです。

【不安も】

- *待ちに待った中学入学。ようやくスタートでき、お友だちとも会えて楽しそうです。が、基本は自分の席から移動禁止、**おしゃべり禁止**、かなり窮屈な思いをしています。
- ***登校から下校までマスクをはずせず、1日中ソーシャルディスタンス**で不自由。
- *みんなで**一緒に遊ばないよう注意**されているので不満そうです。
- *学校再開に期待に胸膨らませていたが、友だちと**おしゃべりも出来ず**、がっかりしている。おしゃべり出来る下校時の短時間が楽しいとのこと。すぐにテストがあり疲れている。
- ***生活リズム**が整っていない中、授業や宿題が本格的にスタートし、電池が切れてしまわないか心配。
- *コロナにかかってしまったら…と、あまりに心配だったのか、登校初日はじん麻疹が出てしまいお休みに。
- *生活リズムをとりも戻すと同時に、**急な授業再開**で精神的に余裕がない。
- ***6時間授業**いやだと言う。校門で行き渋っている子が以前より多く見られる。
- *授業の詰め込みで楽しみにしていた**行事や夏休みがなくなる**こと。
- *今までずーっと家にいなさい！から急に毎日学校で、ついていけなくてつらそう。
- *体調が悪く、1日しか行けてません。唯一登校した1時間目にしんどくなったが、**先生になれていないため、言い出せず**。それが不安で2日目の登校が出来なかった。
- *入学式をして以来の登校になり、高校生活のガイダンスはメールだけだったので、初日は学校に行ってから確認する事もあり、初めて尽くして疲れて帰ってきました。先生に質問したくても**先生が忙しくて引き止められなかった**ようです。
- *生活リズムがくるったのと、**休みあけのテスト勉強で、いつも疲れているようで、よく昼寝**している。
- ***1人していると怖いことを考えてしまう**ようで、1人で出かけるのも極端にいやがるようになった。いつ頃から？と聞くとちょっと前から。と言うのでコロナの影響か？と気になっている。

⑥再開された授業はどうですか？



「遅れた学びを取り戻す」「学びの保障」として、夏休みが短縮、土曜授業、授業時間が増加し、宿題も増えています。「学びの保障」は保護者も望むところではありますが、子どもたちの心が折れるような勉強の「詰め込み」では、本末転倒です。長期休校中の課題（家庭学習）、オンライン教育は、家庭の状況によってとりくみが分かれ、その結果、学力の格差がひろがっている、との記述も多数ありました。

初日から学力テスト／音楽の授業で歌や演奏ができない／学活や道徳を削り、5教科中心／前学年の学習が中途半端になった

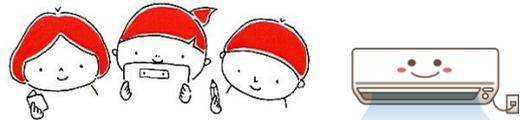
⑦ ⑥の具体的な様子（自由記述）【別紙全文】

アンケートの「声」より

- *授業の遅れを取り戻したいという先生方や教育委員会の気持ちも分かるが、何より、子どもたちの心身の健康を第一に考えてほしい。
- *毎日ヘトヘトになって帰ってきます。授業の進み具合が早くて、先生の焦って進めている感じが伝わってきます。今後の子どもにどう影響がでるのが心配。
- *授業数が増えたり朝すぐ授業だったり心配が多い。仕方ない事だが…子どもへの声かけなど手をかける部分も見たい。
- *自宅ではなかなか課題に取り組めないまま学校再開に。ただでさえ苦手な勉強が、さらに苦手になってしまわないかと心配です。一人ひとりの子どもに目を向けてもらえるためにも、感染防止のためにも、先生方がやりがいを持って働ける環境を作るためにも、20人学級などの少人数学級を望みます。
- *学校再開後の毎日の宿題＋休校期間中のやり直し＋休校期間中のまだやっていない宿題で、本人はアップアップです。きちんと見てあげられなかった自分にも責任を感じています。
- *オンライン授業におけたアンケートがきたが、子ども各々にタブレット端末を準備する余裕がない。
- *うちの県立高校は、1年生からタブレットなど強制的に買わせられ、通信費と合わせ、3年間で13万円もの負担が増えています。学校で使うのだから、県の予算で整備すべき。
- *休校中の課題の量に閉口しました。習っていないことを教科書を見てやる、とか色々ありましたが、親がみてあげないと終わるわけのない量で、子どももやる気なしでした。
- *看護師などの仕事を休めない保護者がいる家庭（エッセンシャルワーカー）、シングルの方などは学校の教室で同様の授業が受けられるようにするべきでは。地域格差、家庭格差が出来ていることをどう思っているのか？ 子どもたちの学ぶ権利を保障するのは「個人にお任せ」…。これでは日本の将来は本当に大変なことになる。
- *休校中、親が在宅だったため、子どもの宿題や予習を見てあげる余裕があったが、宿題で精一杯だった家庭もあったと思う。家庭での学習が難しかった子は、少人数で学校で丁寧に教えてもらえるように。
- *夏休みが短くなるが、家族との時間や自由に過ごせる時間を大切にしたい。
- *1日7時間授業はキツそうなので6時間に戻してほしいです。学校の勉強にもっとゆとりをもたせて欲しいです。それに、あまりせかせかせず、ゆっくりした学校生活を送らせたいです
- *詰め込み授業をしない！帰宅後は、ホッとできる自由な時間にしてあげたいので、宿題廃止！自分の頭で考えて、もっと自由に自分の意見を言える教育内容、少人数クラス希望です！日本の教育改革のチャンスですね！
- *休校中に習っていない範囲の勉強が親任せになり、なんのフォローもないことに愕然としています。医療従事者は子どもにゆっくり勉強を教えてあげられない。学力の格差が大きくなってしまわないかと懸念しています。親が頑張るのが当たり前という感覚も私には全く理解できません。

夏休みが短縮され、炎天下の登下校、エアコンのない教室での授業など、**熱中症の危険**が迫っており、対策を求める声が多く寄せられています。暑い中のマスク着用の強制は、リスクがあります。

この夏は、「例年より暑い」との報道もあり、「**熱中症から子どもたちの命を守る**」ために、「**こうあるべき**」「**これがルール**」ではなく、**命を守るために、やれることは全部やる、そのための予算が必要**です。



※6月15日の文科省との要請翌日(16日)、文科省の衛生管理マニュアルが改訂されました。「息苦しい時などは、マスクを外すなど、児童、生徒の判断で適切に対応できるよう指導」、登下校中も「人と十分な距離を確保できる場合にはマスクを外す」など、臨機応変な対応をすることが重要と、としました。(文科省HP参照)

アンケートの「声」 ～【マスク着用、熱中症の心配】

*夏は**エアコンがない**ので暑さ対策が心配。

*子どもたちの**体力低下**で、**これからの暑さに耐えられるか**が心配。

*学校が遠く、**片道30分以上かかるのに夏休みが短縮**になるとの事で、**炎天下で熱中症**にならないか。

***マスクで暑くて集中**できない。

*都市部と地方、私立と公立での教育格差が気になります。もっと地方に目を向けて欲しい。夏休みが減らされて授業となると、小学校には**クーラーが設置されていない**ので子どもたちの体調が不安。

*夏休みが減るらしく、学校までが遠いこともあり、熱中症なども気になる。制服に帽子がない。

*感染のリスクが低い地域なので、**マスク着用の義務を見直して**ほしいです。特に運動をする時に思います。酸素不足、熱中症等の危険性も考慮してほしいです。

*夏休みが大幅に短縮されたので、せめてその時期の**制服での登校は勘弁**してほしい。

*段々と暑くなってきたが、マスク通学で子どもが「いつも暑い」と言い、マスク通学が嫌だと言っている。普通なら、涼しい時期に学校までの道のりに慣れ体力もつくのに、急にこの暑期中、マスクをつけての通学は**1年生の子には負担**が大きい。

*小学1年生です。マスクは、必要なことはわかりますが、子どもは走ったり運動することが多く、息苦しくなることもあります。**マスク嫌いな子どもにさせて我慢させるのが、親としてつらい**です。

*登下校のマスクの着用が暑すぎて熱中症が心配。学校に問い合わせたが、**学校からは着用しなくてよいとはいえない**とのこと。

*マスクでの熱中症が気になります。夏用とかを探してさせていますが、**登下校の間だけでも外させて**あげたいな…とったりします。絶対近付かない！ という保証がないので仕方がないとは思いますが。

*他県で話題にもなりましたが、**洗濯しづらい制服登校**ではなく、体操着登校にしてもらいたいと学校にも話はしました。分散登校時は体操着でしたが、6月1日から制服(夏服)になりました。衣類に付くウイルスの検証について詳しくわかりませんが、これをきっかけに制服をなくす方向だとありがたい…とは思いました。(子どもの話だと、制服で授業を受ける時間は短いそうです。購入するのがもったいない…と思うのですが…体操服で十分では?)

*夏休み短縮して授業がありますが、県立高校はエアコンがありません。**今から授業に集中できるのか**、体調は大丈夫か…不安です。生徒だけでなく先生方のことも心配です。

***マスク、フェイスシールドなど異様**です。やめてほしい。本当に子どものためですか? そもそも効果も見込めません。熱中症が心配です。

*不登校気味で給食だけ食べに登校を始めたが、暑さでへばった。**不登校対応の相談室はエアコンがついておらず、真夏の登校はどうなるのか**ちょっと心配。

*登校中は熱中症になりやすくマスクはしなくて良いことになっています。知らない大人が多く、子どもたちが道でおこられたりしないか心配。

*高校が、自衛隊小牧基地のすぐ近くで、以前から二重窓でエアコン設置済みなのですが、新型コロナウイルス感染予防で、**窓を開けたまま授業をしているらしく、自衛隊機の騒音で授業が中断**するそうです。今後、民間機も飛行するようになったら、騒音で授業が成り立たないのではないかと思います。

受験生の保護者から不安の声が多く寄せられました。最終学年であり、思い出となる学校の行事がなくなることと合わせて受験への焦りや不安もあり、「メンタルケアが大事」との指摘も多数ありました。受けられなかった授業をどうするのか、出題範囲など、特別な対策が必要です。

アンケートの「声」 ～受験生に特別の配慮と対策を！

【中3より】

- *受験生だが、高校説明会が2学期になった。どんな学校があるのかよくわからないまま進路希望を提出しないといけない。
- *長女が受験生ですが、対策をどうすればよいのか？ あまり差が出ないように臨機応変に対応してもらえるとよい(休校中の内容はテストに出さない等)。
- *わかるまで教えてもらえない。
- *学校からは特に説明もなく、今後の見通しが立たないのかなと思っています。
- *休校中の範囲はやらなかったり、サラッと流したりする。
- *受験生なので、教科毎のテストや中間テストがあり、宿題が多い。来週からは1日8時間授業に。
- *中2の休校になってしまった単元はどうなる？ 休校中の大量の課題は本当にやった意味があった？
- *塾へ行ってる子どもと、行ってない子どもの学力の差がひらいてる中で、学校の授業までもが詰め込みだと、受験生である子どもが精神的にも辛い。
- *授業することなく課題提出をして、それが単元修了とされないか不安です。
- *受験の出題範囲を縮小することなど、早めに対策を決めて、子どもたちの負担や不安を緩和してほしい。
- *先の見通しが全く知らされないまま日々を過ごさなければいけないことに疲れているのか、帰宅した後ぐったりしています。
- *不安な気持ちを友だちとおしゃべりして共有できない。しばらく勉強してなくて分からないことがあり、不安になった。受験も重なり、将来についても不安になった。1週間程、朝食後、吐くようになった。
- *受験生なので、友だちに会えるのは楽しいが、テストが多く勉強には不安を感じている様子。

【高3より】

- *大学入試がどのようになるのか不安です。オープンスクールも全然行けていません。
- *休校中はオンライン授業だったが、とても疲れると言っていた。学校のほうが楽しいようだ。
- *不安なことは、学校行事はなくなり課題が多いこと。試験、受験と迫って来る日々を送る為。
- *受験の試験範囲が気になります。
- *全国的に統一して入試の出題範囲を少なくして欲しい。
- *3年生は補習があり、ただでさえ夏休みは少ないのに、もっと増えると、夏休みはないのではないかと。
- *休校中、大量の課題を出し、学校再開後、すぐテストがある。テストより、授業ではないだろうか。
- *休校中に出された課題(新しい内容)のテストがあった。良く理解できてないのに・・・。
- *貴重な子どもの期間が短縮されているようでかわいそう。経験も学習も受験対策期間もできるだけ今までと変わらない期間を設けて公平になるよう努力してほしい。
- *学習権を奪われた。学校休校は最後の手段にすべき。大人は仕事に行って子どもは休校はおかしい。
- *高校は課題を出すのみで何のフォローもない。受験生の不安を受け止めて対策を考えてほしい。
- *共通テストの時期、出題範囲などが気になります。高校によりかなり進度に差が出てると思う。
- *就職を希望していますが、求人があるか、ちゃんと決まるか心配してます。
- *学校や地域や家庭ごとに学習環境に差が出ている。受験について、時期なども含め、不利にならないように具体的な方法を早く決めてほしい。
- *受験の日程など変更あるのか、ないのか、はっきりしないのは不安があるようです。浪人生が有利だとか言われていますが、そんなことでは3年生が気の毒です。
- *励みになる学校イベント、行事、身体を動かす機会が減って勉強漬けになり、ストレス発散ができない。
- *休校ですが、今のように少人数の分散登校にするとか、一斉ではなくそれぞれの自治体で検討してほしい。

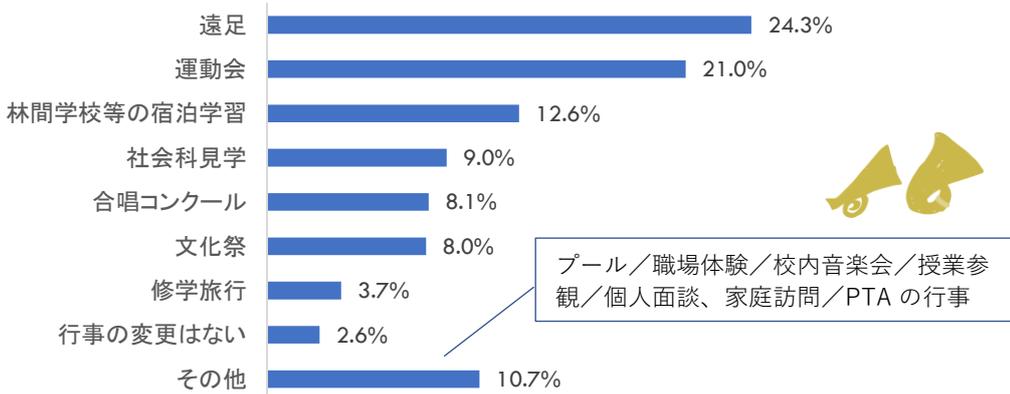
コロナ感染の第2波に備えて、オンライン授業とそのための整備を望む声が多く寄せられました。一方で、ネット環境や機器の準備など、各家庭まかせの対応では困難な状況であることも多数指摘されています。「少人数クラスに」との願いと合わせ、学校へ行けないときの子どもたちと先生をつなぐコミュニケーションのツールとしても待たれていることも分かります。



アンケートの「声」 ～オンライン授業、環境整備について

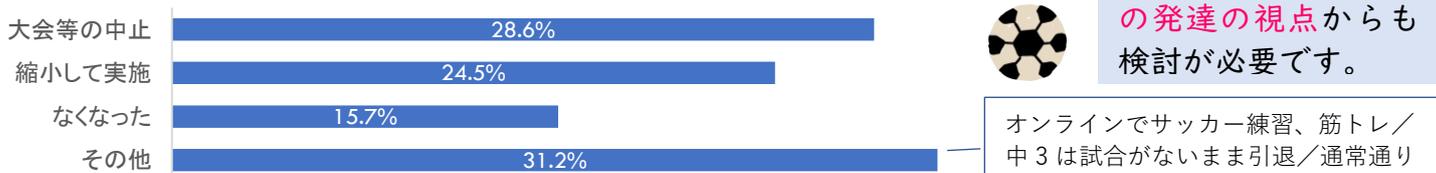
- *オンライン授業など、家庭で格差がないようになってほしい。
- *オンライン授業におけたアンケートがきたが、子ども各々にタブレット端末を準備する余裕さえない。
- *この先オンライン授業でも良いが、家にいると先生とのふれあいや友だちとの関係が気薄になりそう。
- *集団を回避しながら、つながりをもってるのはありがたいと思う期待はあるのですが、なので、オンライン授業より、オンライン登校日を希望！！出席とるだけでもいい！「おーい！みんな元気！？」みたいな。
- *ネット環境を休み中に聞いてきた割に、ネットで調べる宿題を出されても、端末がないのにどうしたらいいのかという怒りとともに、先生たちも出しようがなかったのかと思うと胸中複雑です。明らかに教育の格差が出ました。少人数学級にすることで行き届く授業をするための一歩を踏み出してください。
- *休校中も塾や家庭教師のオンライン授業を受けている子も多く、学校だけに頼ってきた層は置いてきぼりになった感があります。
- *奈良市は小中学校のオンライン授業開始を全国にアピールしていますが、繋がらないままの家庭もあり、一方的な動画配信では小学生には授業とはなりにくい状態です。
- *5月からオンライン授業ですが、アクセスが集中すると繋がることができないため、早朝や深夜にパソコンに向かうことがあります。生活リズムが整いません。授業を受けての課題など山ほどあり、自宅のプリンターから印刷して課題をこなすのでインクやコピー用紙代も結構かかります。
- *教育委員会から、ひっ算を学習する動画がアップされた。が、子どもによって習得する速度がまちまちなので、うちの子は追い付けなかった。対面学習の重要性を感じる。次にコロナで、自粛要請がきた時のことも真剣に考えて欲しい。家庭環境は様々だが、子どもたちの教育を受ける権利はそれによって左右されるべきではないと思う。
- *保護者としては、生活費も大変です。オンライン授業をすすめるなら、たとえ高校でも、私学でも、援助金を出してほしいです。
- *みんなが使えるように、困っている家からのタブレット端末を支給、環境の整備をしてほしい。
- *オンライン授業にパソコンやカメラ、Wi-Fiの設備投資が必要。どの家庭も出来ないのも、行政としてオンライン授業が出来るように端末を貸し出しするなど体制づくりをしてほしい。
- *第二波が来た時にはどの家庭にも平等にオンラインまたはTVでの授業ができるようにしてほしい！仕事を休めない保護者がいる家庭、シングルの方などは学校の教室で同様の授業が受けられるようにするべきだと思います
- *先生やお友だちともオンラインで繋がり、励まし合えたらストレスも多少は減るかもしれない。
- *オンライン学活や相談できる場、先生やクラスメイトと交流できる場を整えてほしい。
- *少人数クラスにしてほしい。オンラインを整えてほしい。
- *コロナが収束してもオンライン授業や、オンラインでクラスとつながれたら、不登校支援になると思う。
- *第二派、詰め込み授業がしんどい→学校に行けない時でもオンライン授業を選択できる環境を整えていただきたいです。
- *不登校児や入院等で学校に行けない児童にもオンライン授業を用意してあれば、等しく教育を受けることができると思う。
- *子どもが通っている中学は、昨年の台風で2カ月休校があった上に3月の休校。昨年度の学習も終わらずに中学3年生になってしまったので不安ばかり。自宅も被災し、仮設住宅ではネット環境を整えてあげられませんでした。その上、休校中に学習を自分で進めるように言われても、つまづいてばかりです。

⑧なくなった行事はありますか？【複数回答】



学校は勉強するだけのところ？ 授業時間が増え、休みも減って、楽しみだった行事がなくなる…。「学力の低下も心配だが、子どもらしく自由に遊ぶことやエネルギーを発散できず、今後の成長が心配」の声も。部活や行事をどのように実施するかを、子どもの発達の視点からも検討が必要です。

⑨部活はどのように行われていますか？（中学生、高校生）

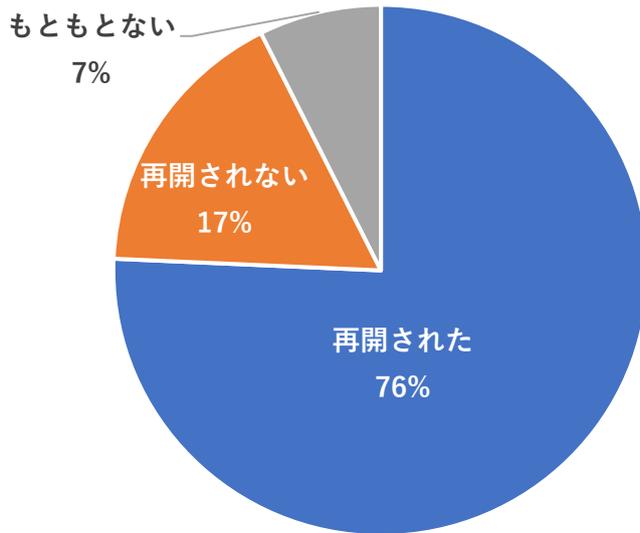


アンケートの「声」 ～【行事がなくなり、楽しみの少ない学校へ】

- *文化祭が中止になり、「何か面白いことないかなあ、家で勉強する気にならない」と言っている。いつもより親に甘えている。
- *学校は開始されたが、行事はことごとく中止。
- *鹿児島は早く休校があけたけど、授業は詰め込み。行事はなくなり、**代替の企画もありません**。
- *楽しみにしていた**水泳がなくなり**、図書室も休み時間は30人までとなり、ほとんど行けなくなった。
- *総体がなくなり**部活を頑張ってきた中3は目標を失ってしまった**。区切りを付けられる試合等があれば。
- *小さい学校なので、大きい学校と差があるのではないかと感じます。普段通りというのは無理だと思いますが、子どもたちにとっては、**今この時は一度しかありません**。部活の大会が無くなり、**やりがい**を失っている。なるべく今までの生活に戻れるよう、支援してほしい。
- *学校によって授業の進み具合の差が出てきているようなので、今年のカリキュラムは大幅に減少するようにし、**子どもたちの心のケアややる気を出させるためにも体育祭や社会科見学、遠足や修学旅行などの行事は削って欲しくない！** 子どもの健康面の為にも部活の再開を望みます！
- ***最終学年で行事がなくなってしま**いととても可哀そう。代替の行事を考えてほしい。
- *授業だけするなら、塾でいい。**友だちと関わりあって、いろいろやりとりしながら行事を作って、体験して、という場こそが学校**。7時間授業とか入れていくなら、宿題をなくす、または減らしてほしい。
- *行事は、今検討中。部活の大会が中止になり、修学旅行くらいは…と思いますが、多分無理ですね。また、2波が来ても、休校にはしないでほしい。
- ***修学旅行は行かせてあげたいです**。
- *高校生活で子どもたちが楽しみにしている**文化祭等はなくさずにやれる形で実施してほしい**です。子どもたちは長い休校や、いつもと違う学校に不安を抱えています。心のケアを第一にして、課題の提出も無理強いないでほしいです。
- *夏休みは10日間。プールなし。**行事がなくなり、楽しみの少ない学校になりそう**。
- *夏休みの短縮や運動会の中止…。**学力の低下も心配だが、子どもらしく自由に遊ぶことやエネルギーを発散できず、今後の成長が心配です**。
- *行事も**なぜなくなるのかわからず**、子どもたちは勉強、勉強でいやになりそう。子どもの心を大切にしてほしい
- *林間学校は行かせてやりたかった。
- *今回の休校措置で、**私たち大人は当たり前前に経験したことを、子どもたちから奪ってしまった**。卒業式での別れ、入学式での晴れやかさ、修学旅行、部活の引退試合。休校や行事の中止が本当に妥当だったのか、今後、真剣に検証されなければならない。

⑩学校給食について、お聞きします。

(小学生、中学生)



学校給食は子どもたちにとって、とても楽しみな時間。でも、感染予防ばかりが強調され、おかずは少なく、無言で黒板を向いて食べるという状況に。子どもの成長に必要な栄養バランスや食事量とは思えない内容や、主食とおかずの組み合わせもバランスを欠いているものがあり、食育の視点が置き去りにされていることは憂慮すべき点です。

大規模センター方式の給食では、「食材の確保が間に合わない」「各学校の実情に合わせた柔軟な対応が難しい」などもアンケートの中でわかりました。

子どもたちが健康で元気に学校生活を送れるよう、学校給食のさらなる充実と給食費の無償化を求めます。

アンケートの「声」

- *全員黒板を向いて、無言で食べる。
- *品数少なく、主食がパン食。
- *メニューが少なくなった。
- *簡単に配膳できる献立になった。
- *以前は、班ごとに向かい合って食べていたが、今は、前を向いたまま食べる。私語をしないよう、注意を受けている。
- *センター方式は、食材発注が間に合わず品数が少ない献立になり、あまりに貧相な給食に地元ニュースで報道された。
- *センター方式で、食材ロスを避けるために、簡易給食（ご飯またはパンとおかず一品）で再開。その後、保護者や現場の先生方からの意見を受け一品（スープ類）追加。今は通常通りに戻っている。
- *学校再開の日程が確定せず、発注ができず、メインがない給食になった。蒸し暑く不慣れな学校生活だからこそ、栄養豊かな給食を提供してほしい。
- *6月3日に再開されたが、感染予防のため主食が個包装のパン。おかずは今まで通りのため、ミルクロールパンとさんまの塩焼き、パンと豆腐とわかめの味噌汁など主食とおかずが合わない。
- *米食が間に合わず納豆とパンが出た。
- *おかず少なく、おなかが減る。
- *給食がぜんぜん量が足りない。3分で食べたと言い、帰ってすぐに何か食べないとたない。
- *汁とご飯だけが1週間。それでも料金は同じ。なぜ？
- *6月15日から再開予定。通常通りの授業がにもかかわらず、1週間簡易給食（主食・副食（汁物）・牛乳）。補食の持参も許可されておらず、学童ではおやつもない。夜まで我慢しないとイケない。市教育委員会へ問い合わせたところ、「子どもに我慢してもらえない」との回答。
- *先生が配膳。
- *6月15日までは午前と午後に分けて分散登校なので給食は無しとなっているが、15日以降は給食再開の予定。ただし、給食費は5月分も含めて一旦引き落とされ、年度末にまとめて返金。
- *6月4日から再開。食後のかわりはず最初食べる量を自分で調整する、しゃべらないこと。
- *夏休み期間は、給食センターは保守点検のため提供されず、代替食が提供されるようです。詳細はまだお知らせありません。
- *通常給食(自校式)。
- *給食のなかった、4月5月の給食費が徴収された。
- *コロナ禍で仕事がなくなりました。これから大変に…。給食費は無償にしてほしい。

コロナ禍でも、子どもたちが学び、健やかに学校生活を送れるよう 教育予算を増額し、教職員をふやして少人数学級を実現してください

2020年6月15日
新日本婦人の会会長 米山 淳子

6月、多くの地域で学校が再開されました。当会では、「学校再開どうですか？」の緊急アンケート(実施期間6/2~15)にとりくみ、保護者1000人の声が寄せられています。(中間集約6月10日時点771人)。学校再開は、「友だちや先生とあえて嬉しい」「楽しい」(53%)という声が多く寄せられた一方、「不安」が20%を超えました。具体的には、授業時間の増、夏休みの短縮、土曜登校などの学習の詰め込み、炎天下でのマスク着用での熱中症の心配、分散登校終了後の教室の「密」、先生の負担、楽しみにしていた運動会や修学旅行等の行事の中止、給食は、感染予防ばかりが強調され、配膳の手間のかからない献立でおかずは少なく、無言で黒板を向いて食べるという状況がひろがっています。

子どもたちが日々過ごす学校生活が、「遅れた学習を取り戻す」ことや、子どもの権利や心身の健康がないがしろになるような「予防策」ばかりとなったら、せつかくの学校再開の喜びが、生き苦しいものになってしまう。先行きの見えない不安な3カ月の休校期間を過ごした子どもたちの心身の健康を第一に考えて、詰め込みではなく、ゆとりある「学びの保障」と学校生活を望み、以下、要請します。

記

【健やかな学校生活のために】

- 一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育、心身のケアができるよう、少人数学級を実現してください。
- 感染や熱中症、子どもの心身のケア等、先生は休憩時間もなく働いています。すべての学校に教職員を増やすため、10万人の増員を行ってください。

【行事や部活も大事に】

- 子どもたちにとって学校生活とは、勉強だけではありません。行事や部活を一律で中止にせず、工夫しながら開くようにしてください。

【熱中症対策は必至】

- エアコン未設置の教室、特別教室、体育館、調理室に急ぎ設置してください。そのために、エアコンの「つけしぶり」が起きないように学校運営費を緊急に増額し、命を守るためにエアコン稼働をよびかけてください。
- 多くの学校で夏休みが短縮され、炎天下の通学になります。制服着用はやめる、重いランドセル、通学カバンはやめる、こまめな給水など、積極的な対策がとられるよう通知してください。改善できることは前例がなくとも行い、マスクを外すなど、熱中症から命を守ることを徹底してください。

【学びの保障】

- 教科の学習内容を家庭学習等で一部を代替させる通知(6/5)が出されていますが、学校ですべき学習を家庭で肩代わりさせることはやめてください。家庭学習(宿題)は、子どもに関わる大人や家族の状況に左右され、学力格差が広がります。教育の機会均等を子どもたちから奪うことのないようにしてください。
- 「学習指導要領通りに」「教科書は全部やる」ではなく、必要な学習を厳選してください。
- オンライン授業を実施するのであれば、家庭や自治体任せでなく、端末機器、通信環境の整備など、必要な予算を国として確保してください。
- 「遅れた学びを取り戻すのに数年かけて」としているならば、自治体や学校間で競争を生む、全国いっせい学力テストは、来年度以降も中止してください。

【学校給食】

- 国の責任で学校給食を完全無償としてください。
- コロナ禍でも、子どもの成長に必要な栄養バランスや食事量、主食とおかずの組み合わせのバランスなど、食育の観点を大切に給食の提供をおこなってください。
- 大規模センター方式の給食で、食材の確保が間に合わない事態が起きています。この機会に自校調理方式をすすめること、また、国の責任で全ての小中学校に管理栄養士を配置してください。
- 感染予防や状況に関する正確な情報を提供し、給食が「楽しい時間」となるようにしてください。

【教育の無償化 困窮家庭】

- コロナ禍で収入が激変し、困窮世帯が急速にふえています。就学援助を抜本的に拡充し、手続きの簡略化、いつでも申請できるようにしてください。困窮家庭や地域からのSOSをキャッチできるよう、オンライン相談など設けてください。

学校再開どうですか？

緊急アンケートを持って、文科省へ要請

新婦人は6月22日、学校再開後の子どもたちのようすを聞く緊急アンケートを実施。2週間で1392人から回答が寄せられました。「集まった声を、急ぎ文科省に届けよう！」と15日、「中間まとめ」と要請文を持って、千葉、埼玉、神奈川、東京の若い会員らと要請しました。

子どもの権利を大事に

文科省からは、大臣官房審議官(事務方ナンバー2!)が対応。参加した会員がポイントに沿って、訴えました。少人数学級を求めた柳文

人(千葉・船橋支部)は、「これまで家の中で感染防止の生活をしてきたのに、送り出した学校では38人、40人という大人数クラス。『なぜ?』という気持ちです。予算を大幅につけて、1クラスは20人

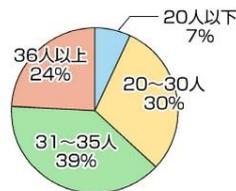
以下に、送り出した子どもを詳しく紹介すると、参加者からよめきが、川邊さん(船橋支部)は、「更衣室がないという理由から、制服の下に体育着を着て登校し、中1の娘は『あせも』ができています。教科書も分厚くて、

副読本も多い。制服を着なくていい、教科書は学校に置いていいなどの発信を」と求めました。

授業の詰め込みやめて

「どうしても訴えたくて、仕事を休んで参加しました」と話すのは神奈川の佐藤さん。休校中は在宅勤務だったものの、「パソコンから離れてはいけない(ビデオ機能で管理)」という原則で、小1の子どものテレビ漬けに、「親がついて、声掛けをしたり、課題を見てあげないと1人では、とてもすめられません。ところが学校からは、『課題はどう?』と聞かれ、親としてプレッシャーを感じます。自粛生活で体力がすごく落ち、朝、起きるのも学校へ歩いていくのも大変。遅れた学習を取り戻す前に、心のケアを。」

密が心配！ 通常クラスは何人ですか？



「学校再開アンケートの中間まとめ」より(新婦人のホームページに掲載)

さいたま市の高田さんは、

要請では、文科省も「コロナ禍では20人以下の少人数学級が必要」という認識であることがわかりました。一方で、それは8都道府県の中で3、小6と限定的。感染率を下げるうえでも、子ども一人ひとりの心身のケアのためにも、一部ではなく全体に広げてほしい。「予備費を使った追加措置、そして概算要求を求めていきたい」と訴えて、要請を終わりました。



午後、懇談要請を受け、国会内で日本共産党の志位委員長をはじめ国会議員と懇談。「コロナで苦しんできた子どもたちに、少人数学級をプレゼントしよう」と交流

発言をうけての回答

少人数学級 3密を避けなければならぬときは、20人以下での授業を。そのために補正予算で加配を3100人にした。対象は、特定警戒地域(8都道府県)の小6と中3の一部(3分の2)。また既存の加配PTT(チーム・ティーチング)の先生を少人数学級に振り分ける。学習指導員で教員免許のない人にも特免、臨免を出して、担任として少人数学級編成のために使うことを可能にする。これは他の学年でも可能。

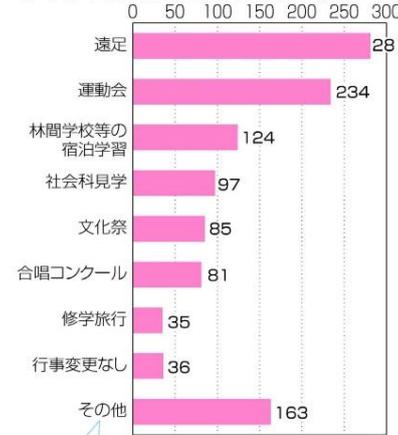
熱中症対策 今夏はヨーロッパでは200年ぶりの暑さと言われている。みなさんの言う通り、万全な備えが必要。何が優先順位になるのか、しっかり言っていきたい。(翌16日にマニュアル改訂)

学びの保障 教科書で、これは授業で取り上げなくていいという部分(全体の20%程度)を示している。極端に言えば取り上げなくていい。(参加者の声を受け)それが徹底されていないということなんです。埼玉の「授業ビデオ」はまだ拝見していない。全県のとりくみをよくみて今後の備えをしてきたい。

給食費 (給食がなかった4・5月分も徴収された)との参加者の発言に、その市の教委がどのような判断したのか、事情を聞いてみたい。3月分の給食補助金を新たにたてたが、あまりにも現場に浸透していない。周知をしていきたい。



なくなった行事はありますか?(複数回答)



プール/職場体験/校内音楽会/授業参観/個人面談/家庭訪問/PTAの行事

めざせ「20人以下学級」/えがお署名はこちら



※補正予算の先生の加配「3100人」は積算数なので、47都道府県の全学年が加配の対象。ただし、全国全学校で割ると10校あたり1人の加配にしかならない。

